

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほしぞら			
○保護者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2026年1月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2025年12月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童への理解や活動内容に関して満足していただけている	能力別、年齢別にその日の児童の振り分けを行っている。その日の様子をお伝えしている。 ご家族様の要望にできる限り応じている。	児童に合わせた活動を行うことができるように、事前の活動内容を職員間で話し合い、準備を早めに行う。急遽参加した児童がいた場合でも、臨機応変に活動内容を変えられるように、活動内容のストックを常に準備しておく。
2	生活空間がきれいに保たれている	定期的な清掃を行っている	カーペットやおもちゃなど、清掃に時間がかかるものをいつやるかを明確にして、日々の業務に取り組んでいく。
3	ケガや体調不良による様子の変化への対応や対策を早急に行っている	家族への管理者からの説明、事故に対する見直しを行っている	起こった事故を職員全員へすぐに周知し、再発を防ぐようにしていく。日々の活動で危ないと思ったことは会議等で報告し、事故を未然に防ぐように心掛けていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数が多いことにより、実働で入る職員の数が他の事業所よりも必要であること。	経験の多い職員の不足、部屋数の多さ	従業員の確保、児童数と能力に合わせた活動部屋の使用の調整
2	AMから支援に入る職員とPMから支援に入る職員との情報共有が難しいこと。	就業時間が分かれてしまうことに要る情報共有の不備	パート職員での支援回しを行い、職員の会議参加率を増やす。実働に入ってくれているAM児発の職員へはAM担当職員による情報共有を行う。
3	協議会や地域連携に参加しているが共有がない。	共有できていない	定期的に職員会議を行い、情報を共有していく。